



北アフリカ地域ニュース

エジプト：米国、エジプト、ヨルダン、GCC6 カ国外相会合 (8月1日付現地各紙)

7月31日、シャルム・エル・シェイクにて、ライス米務長官とアラブ側8カ国の外相との会合が行われた。同会合後の共同記者会見での、ライス米務長官及びアブルゲイト・エジプト外相の発言：

1. ライス米務長官の発言：

- (1) 今回の外相会合を主催したエジプトの役割を評価する。今回の会合は、アラブ諸国との政治対話活性化の上で非常に有意義であった。今回の会合では、中東地域が直面する諸問題について議論が行われた。
- (2) ブッシュ米大統領が秋に開催を呼び掛けた国際会議の準備に向けて、今回の会合が成果をもたらすことを希望する。
- (3) (米大統領が呼び掛ける国際会議の目的について問われ) 国際会議開催の背景として、ブッシュ大統領は2国家解決に向けてイスラエルとパレスチナを後押ししたいと考えている。現在、オルメルト・イスラエル首相、アッバース PA 大統領による取り組みが行われており、自分も2日後にイスラエルとパレスチナを訪問する。我々に出来ることは、パレスチナ・イスラエル・トラックを更に前進させることであり、国際会議は、こうした取り組みを後押しするものになると考えている。
- (4) (同国際会議とアラブ和平イニシアティブとの関係を問われ) 我々は、出来る限り問題を解決できるよう、ロード・マップ、イスラエルとパレスチナの合意事項に加えて、アラブ和平イニシアティブも取り上げる予定である。我々は、積極的な成果を持って同国際会議を終えることを期待しており、単に指導者が集まるだけの会議を開催するつもりはない。
- (5) (米国が発表した湾岸諸国への軍事援助は、条件付か、或いは、イランを意識したものかと問われ) イスラエル、エジプト、サウジ、他の湾岸諸国に対する援助は、中東地域の同盟国や友人の安全保障の観点から、長年にわたって中東地域の諸国と話し合ってきた結果であり、ご指摘のような意図はない。

2. アブルゲイト・エジプト外相の発言：

- (1) 今回の会合では、中東和平、イラク危機、イランの核問題、レバノン問題、テロ対策、核兵器及び大量破壊兵器の拡散防止について話し合った。
- (2) ライス長官は、各国外相にブッシュ大統領が呼び掛けた国際会議を通じて中東和平プロセスを活性化するための米国の考え方、パレスチナ国家を樹立し、パレスチナとイスラエルの問題解決を前進させたいとの米国の希望を説明した。我々は、ライス長官に自分とヨルダン外相のイスラエル訪問結果とイスラエルから得た印象を話した。
- (3) (パレスチナ内部の分裂状況下での2国家解決を問われ) イ・パ間の合意形成に向けて早急に行動する必要がある。行動が遅れれば、パレスチナ問題に対処する環境に影響を与える。パレスチナ内部分裂状態の終了を希望する。